

「みどり」の創刊にあたって

今年4月1日から篠塚病院に北関東神経疾患センターが開設されることになりました。これまでも篠塚病院では神経内科疾患の診療に力を入れおり、神経内科専門医が毎日外来・病棟の診療にあたってきました。当センター開設に伴い、一般の神経内科疾患以外にも、パーキンソン病をはじめとする手足の動きや歩行が不自由になる病氣、アルツハイマー病に代表される認知症、片頭痛などの慢性頭痛、顔面けいれんや不随意運動に対してより手厚い診療をおこなっていきます。このような診療をとおして、難治といわれる神経疾患に苦しんでいらっしゃる患者様に対して少しでも力を貸すことができればよいと思っています。

当センターの開設に向けて、患者様やその家族の方々に情報を提供し、療養や介護に少しでも役立てていただけるようにと創刊されたのがこの院内報「みどり」です。今回は創刊号として当センターの概要や診療体制の紹介が中心になりますが、次号からは、

- 1) 病氣や脳の仕事についての解説や皆さんの疑問に対する回答
- 2) スタッフが参加または企画した学術研究会や講演会の報告
- 3) 神経疾患に関する最近の研究成果や治療法の進歩について
- 4) その他、患者様やその家族に有意義な情報などを順次掲載していく予定です。

毎偶数月に発行し、必要に応じて増刊号を企画します。患者様や介護者の方々に役に立つ情報誌に育てていきたいと思えます。皆様のご意見やご希望があればお聞かせください。

北関東神経疾患センターについて

1. 概要

神経疾患は難病と言われることが多いのはご承知のとおりだと思います。いくら医学が進歩しても神経疾患の多くは原因が解明されず、根本的な治療法がないのが現状です。私たちはこれまで大学病院等のきわめて近代的な設備が整った施設で、このような病氣を「診断」し「治療」しようとしてきました。しかし、単なる「診断」や「治療」では歯が立たない病氣がなんと多いことか思い知らされてきました。

先端的な医療はもちろん重要ですが、現実には今日の前にいる患者様に少しでもよい状態に向かっていただくことが一番大切なことです。そのためには現在利用できるもっとも適切な手段を患者様やその家族の視線で選択し、診療に組み込んでいけるシステムづくりが必要です。つまり、病氣の予防、診断、治療、リハビリ、在宅介護あるいは施設入所などを切れ目なく、しかも良質なものを適時に

提供するための中核施設が必要です。北関東神経疾患センターはその役割を担い、神経疾患をもつ多くの患者様やその家族を応援するために設立されました。

パーキンソン病や脊髄小脳変性症などの神経難病、アルツハイマー病などの認知症ばかりでなく、その他にもスタッフが指導医・専門医・認定医として得意とする分野に特化したさらに専門性の高い医療もおこなっていきます。

2. スタッフ

当センターには専門医資格のある神経内科医3名と専門医を目指す神経内科医1名が常におり、その他に群馬大学をはじめとする機関からの非常勤研究員が勤務しています。医師以外にも、脳脊髄MRIおよびCTの技師、臨床検査技師、神経心理士、理学療法士、作業療法士、言語療法士、ケアマネージャー、薬剤師、看護師などが常駐しています。

ごあいさつ(田中):これまで長い間、群馬大学医学部附属病院神経内科でパーキンソン病、アルツハイマー病、レビー小体病といった神経変性疾患を中心に臨床や研究をおこなってきました。パーキンソン病友の会群馬支部の顧問として、あるいは群馬県難病医療相談会などでたくさんの患者様やその家族の皆さんとごいっしょにお話してきました。引き続きこれらの疾患をもつ患者様のお役に立てるような診療を続けていきたいと思えます。加えて、頭痛診療やボツリヌス療法の経験を生かした専門外来もおこないます。よろしくお願ひいたします。

3. 外来診療

当センターの診療は篠塚病院の一部としておこなっていきます。院内の事務所北側に外来を設け

ました。会計や院内薬局はこれまでのものと変わりません。従来どおりの感覚で受診して下さい。



外来日:月～土曜日の朝9時から12時30分
(祝祭日を除く)

	センター外来(予約)	外来2番
月	相原(優)	田中(真)
火	田中(真)	相原(優)
水	田中(真)	相原(優)
木	田中(真)	山崎(恒)
金	田中(真)	池田(祥)
土	田中(真)	相原(優)

これまで土曜日の診療は大変混雑し、患者様の待ち時間が長くなり、ご迷惑をおかけすることがしばしばありました。お仕事等の都合でやむを得ない場合を除いて、可能な限り他の曜日に受診していただきますようお願いいたします。

なお、入院が必要な場合にも篠塚病院の病床をそのまま利用できますので、ご心配の必要はありません。

編集後記

はじめて患者様向けの院内だよりを手がけてみましたが、分かりやすく伝えることの難しさをつくづくと感じました。感想や質問などありましたらどしどしお寄せください。また、インターネットが利用できる方はホームページ <http://www012.upp.so-net.ne.jp/KitakantoNDRC/> をご覧ください。春とはいえ朝夕はまだ寒さの残る毎日です。風邪など引かないようお大事にお過ごし下さい。(M.T.)